

2008年2月21日(木)

内閣総理大臣 福田康夫 殿

革新・愛知の会(平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会)
2008年2月20日開催・第3回代表世話人会

米軍人の女生徒暴行に強く抗議し、
基地撤去、安保解消を求めます

沖縄での米軍人による女子中学生暴行事件は、断じて許すことのできない凶悪犯罪です。沖縄県民の悲痛な訴えをはじめ、国民の願いに日本政府が真摯にこたえることを強く求めます。

この事件を受けて、日本政府や、アメリカ軍が「綱紀粛正」「外出制限・講習」などを口にしますが、何の実効性も持たないことは、その後も飲酒運転、泥酔して民家に侵入など米兵の起こす事件が後を絶たないことで証明されています。

また、沖縄復帰の1972年以降、米兵の犯罪は全国で7千件にも及びます。そのうち沖縄だけで5千件を超える犯罪が発生し、その1割以上が殺人や暴行などの凶悪犯罪であります。

これは、イラクやアフガニスタンで無辜の人々を殺戮している“殴り込み”専門部隊である海兵隊や、空母艦船の米軍基地が存在する事によって起こっています。

米軍は「外出禁止」を通達したと言いますが、そんな通達では、何の解決にもなりません。

その具体化として、私たちは次のことを強く申し入れます。

- 1、米軍再編など基地恒久化政策をやめ、米軍基地を縮小・撤去すること
- 2、米軍に特権を与える地位協定を抜本的に見直すこと
- 3、日本が米軍基地を提供するおおもと、日米安保条約を解消すること

革新・愛知の会(平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会)

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館403

TEL052-872-6918 FAX052-872-6919